すべてのサプライチェーンのリスクを
可視化するESG評価サービス

aiESG

株式会社aiESG
CEO 関 大吉

弊社ご紹介

aiESG

aiESG



会社名	株式会社aiESG（アイエスジー）
本社所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前1-15-20
代表取締役	馬奈木　俊介
CEO	関　大吉
設立年月日	2022年7月20日
主要株主	創業株主、ジャフコグループ株式会社、みやびベンチャーズ株式会社、ニッセイ・キャピタル株式会社、かんぽNEXTパートナーズ株式会社、株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ
メディア等	日本経済新聞、Forbes Japan、Forbes Asia、日刊工業新聞、西日本新聞、週刊エコノミスト、事業構想、他

Forbes Asia 100 TO WATCH

SASB INSIDE

IFRS Foundation

Google for Startups Alumni 2023

TNFD

Forum Member

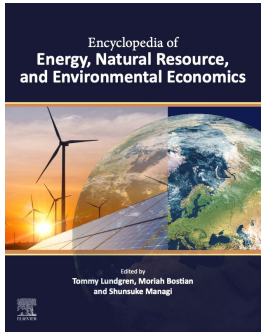
© 2025 aiESG, Inc.

Highly Confidential. Not To Be Distributed Further Without Authorisation of the Sender.

aiESG社は、九州大学馬奈木研究室を出自とする、大学発スタートアップ

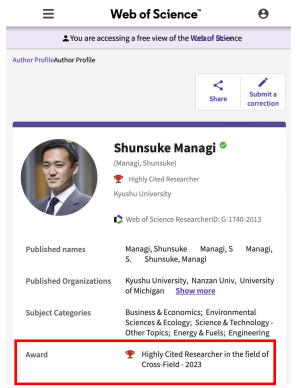
aiESG

データサイエンスを用いたESG評価技術において、日本最大、世界屈指の実績







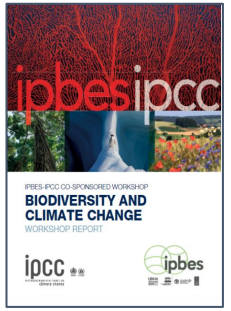


- これまで書籍40冊、学術誌論文500本出版。欧米学術誌において、環境経済学の辞書も共同執筆。
- 論文の質も高く、Science など、トップジャーナルへの出版多数
- 各種Award も多数。日本学術振興会賞、Clarivate社のHighly Cited Researcher など。
- 研究室の規模も最大規模。現在、教員 6名、研究員（博士号持ち）11名、学生約40名。全員がESGデータサイエンティスト。

学術研究だけでなく、産や官との繋がりも豊富







NCCC

- 国連と共同で、Inclusive Wealth Report を長年代表執筆。
- 政策提言も実施。G20のサイドイベントT20に、提言・三角。
- 自然資本関連への提言も多数。IPBES&IPCCの共同報告書において、統括代表執筆など。
- 世界に通用する民間カーボンクレジット創出（日本初）のため、ACX、ソフトバンク、損保ジャパン等、約 60社が参画する、クレジット認証機関「NCCC」も運営

© 2025 aiESG, Inc.
Highly Confidential. Not To Be Distributed Further Without Authorisation of the Sender.

サステナビリティ界の一流人材が集う

aiESG



馬奈木 俊介
代表取締役
九州大学 主幹教授

経済学で国内引用数1位、世界トップクラスのESG研究者。国連・行政との取り組みも多数。著書40冊、学術論文500本、ほか受賞多数。



関 大吉
CEO

アクセンチュア社の社長直轄組織AIセンターにて、ESG経営支援AIの開発・実装に従事。また同社で産学連携戦略の立案と実行も行う。



キーリー アレクサンダー竜太
Chief Researcher / 九州大学 准教授

京都大学にて博士号取得後、世界銀行にて勤務。環境省受託研究代表者、ムーンショットプロジェクトCo-Unit長等も務める。



武田 秀太郎
Chief Scientific Advisor
九州大学 准教授

京都大学飛び級博士取得、ハーバード大学修士を経て、日本人初のIAEA核融合担当国連職員。世界初の計量サステナビリティ学を創成。



伊坪 徳宏
アドバイザー
早稲田大学 教授

ライフサイクルアセスメント分野における第一人者。国内での利用割合が高い環境LCA評価手法LIMEの開発者。



仲 浩史
アドバイザー
IIA グローバルボード理事

元世界銀行副総裁兼内部監査総長。主として内外の金融に関わる職務に携わり、世界銀行グループの業務戦略やオペレーションの内部監査を指揮。

© 2025 aiESG, Inc.

Highly Confidential. Not To Be Distributed Further Without Authorisation of the Sender.

aiESG主な実績

aiESG

2023/01-05

aiESG サービスリリース



西日本新聞1面に掲載



国内最大VCである JAFCO様より、1.5 億資金調達

JAFCO



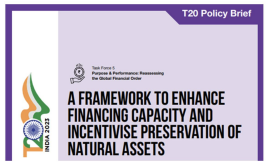
2023/06-10

SASB基準ライセンス取得

SASB INSIDE

IFRS Foundation

G20 Policy Brief 3本採択



日本経済新聞1面に掲載



Forbes Asia 100 に選出

Forbes Asia 100 TO WATCH

TNFDフォーラムメンバーに参画

TNFD Forum Member

J Star-X に採択



「Google for Startups Cloud Academy APAC」に採択

Google for Startups

2023/11-2024/03

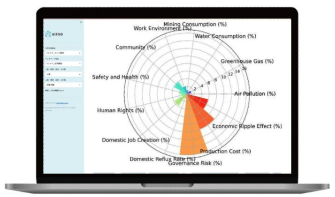
「有田焼」で有名な有田町と包括連携協定



大成建設様と「ネイチャーポジティブ評価手法」の開発に着手



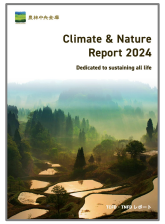
aiESG for IR サービスリリース



世界最大規模のピッチイベント「SLUSH」にて、ヘルシンキパートナーズ賞受賞
（福岡副市長への報告）



農林中央金庫様 Climate&Nature Report 2024に掲載



三井不動産様との分析が、九大研究部門新設に結実



2024/04-09

デニム国際展示会にて紹介



国際機関ERIA主催のAIイベントに登壇



デロイトトーマツ様記事に、弊社について言及



日本学術会議主催の地域課題に関するシンポジウムに登壇



NEC様TNFDレポート2024 にaiESG分析が掲載



日東電工様統合報告書、味の素様サステナビリティレポート2024にて、弊社馬奈木コメントが掲載





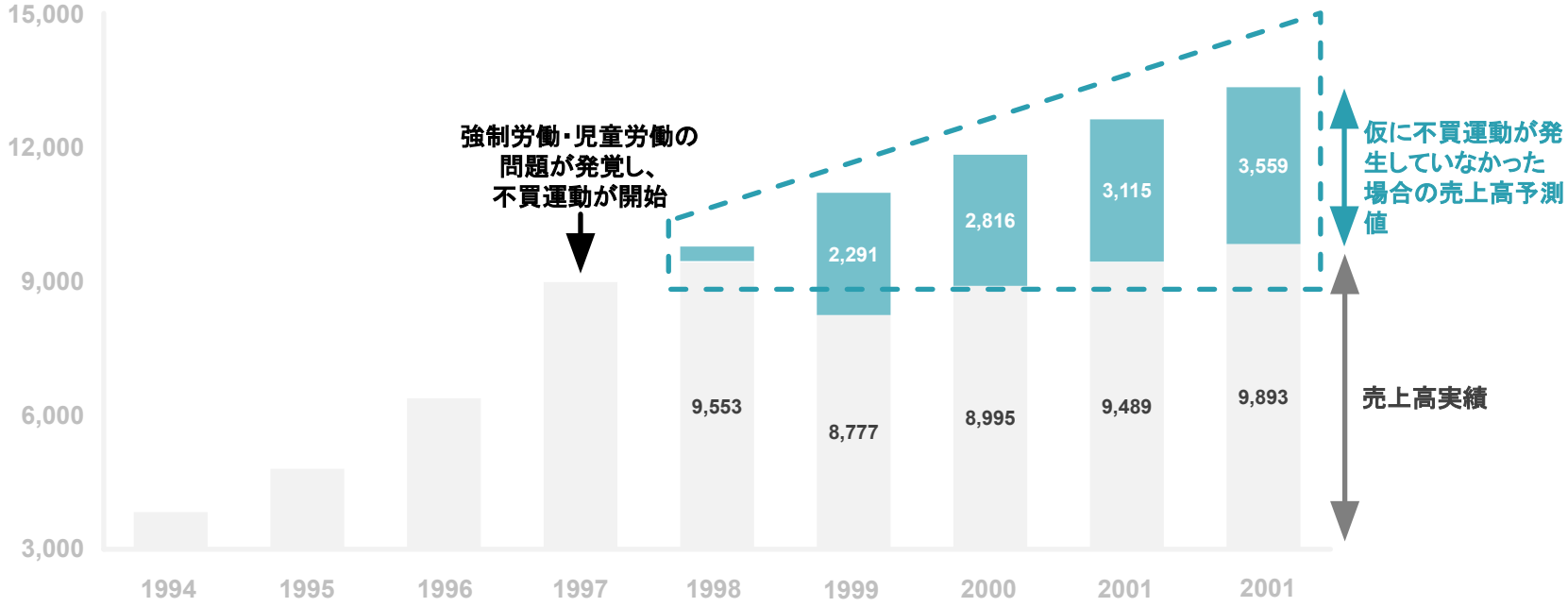
© 2025 aiESG, Inc.

Highly Confidential. Not To Be Distributed Further Without Authorisation of the Sender.

ESGに取り組まないことは売上の甚大な損失に繋がる

企業の事業リスクに直結する

米国アパレル企業において強制労働・児童労働を　NGOに指摘され不買運動により　1兆4,000億円の売上を逸失した事例が存在



人権侵害のインパクト（ 1998-2002年）
約1兆3,764億円

環境の次は、
社会・人権影響が企業価値に直結する国際的な潮流が到来している

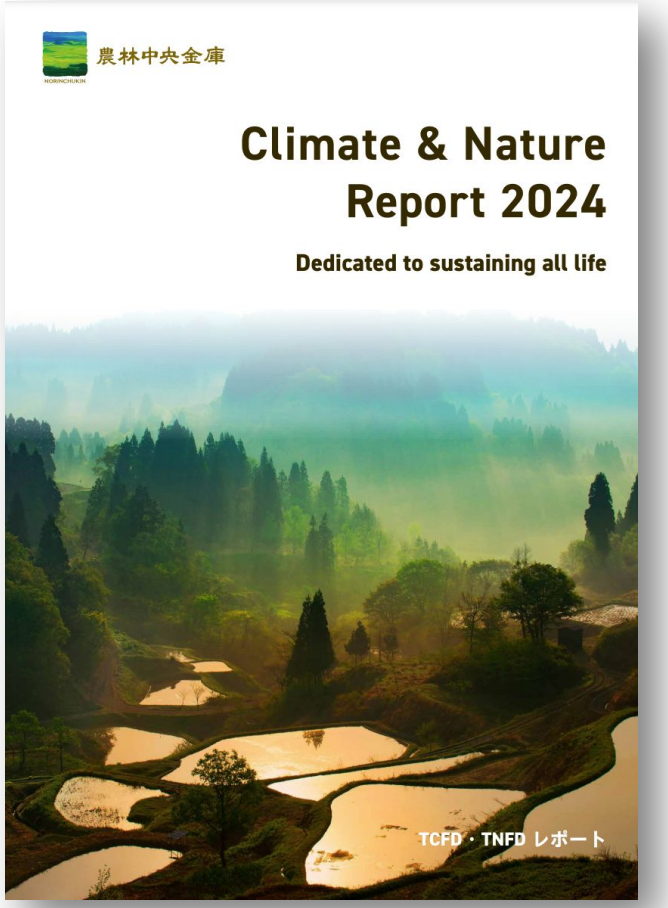
© 2025 aiESG, Inc.
Highly Confidential. Not To Be Distributed Further Without Authorisation of the Sender.

aiESGの分析：
数多くの大手企業サステナビリティレポートに掲載

aiESG









© 2025 aiESG, Inc.
Highly Confidential. Not To Be Distributed Further Without Authorisation of the Sender.

サステナブルな
未来へ導く羅針盤

なぜaiESGが優れているか

© 2025 aiESG, Inc.

分析対象製品

Brewery_1

ベンチマーク製品

Brewery_2

aiESG

お問い合わせ: tech@aiesg.co.jp

© 2024 aiESG, Inc.

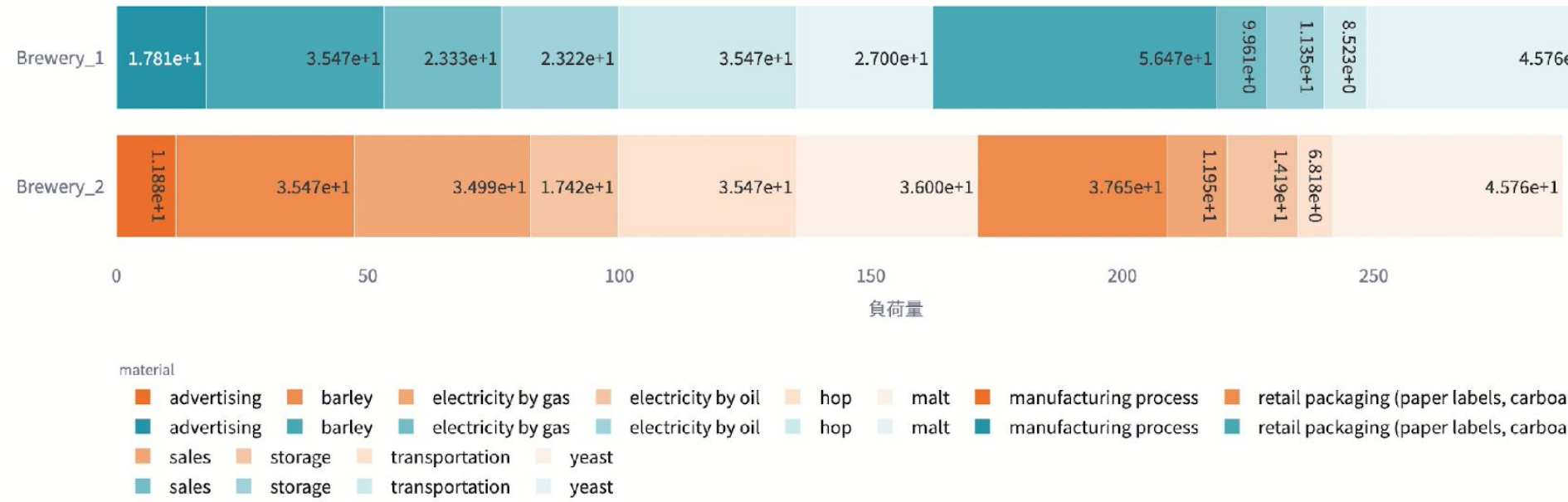
aiESG指標

Forest land

単位：平方メートル

Forest land 原材料別分析結果

Download as CSV



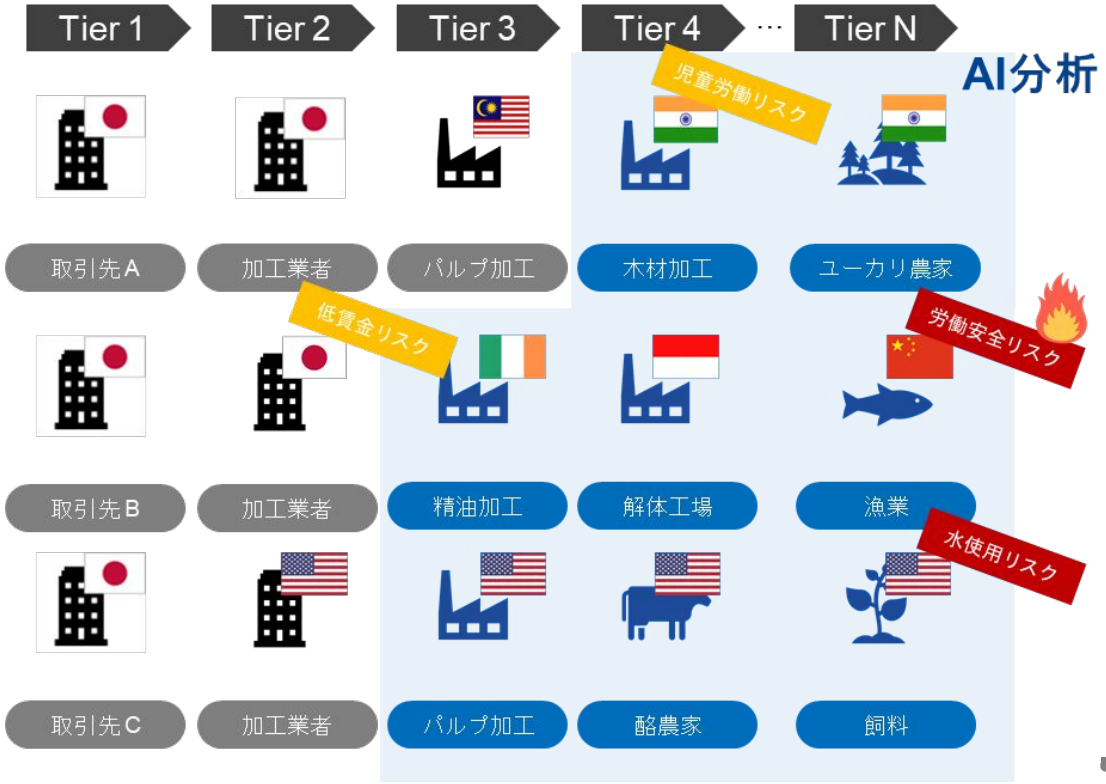
Forest land 国別分析結果

aiESGの強み - 1

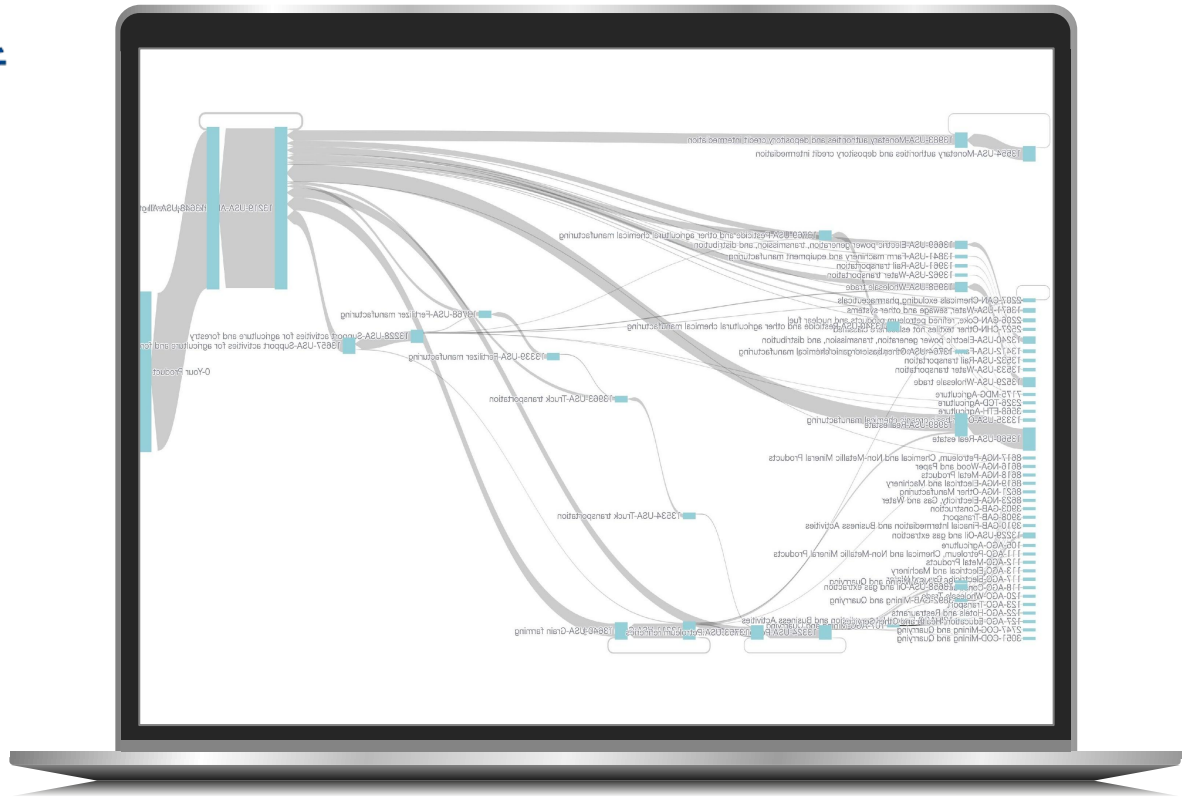
サプライチェーン全体 でのESG評価

分析に必要なのは**コスト構成データ** もしくは**物量データのみ**

世界一のサプライチェーン構造データを用いた　AI分析



サプライチェーンすべての
国・セクターを可視化



aiESGの強み - 2

3,290項目のESG評価が可能（弊社独自）

環境 E

GHG
- CO2排出量
- CH4排出量
- ⋮

エネルギー
- 石炭発電量
- 水力発電量
- ⋮

資源
- 水資源使用量
- 化石燃料使用量
- 鉄資源量
- 非鉄金属資源量
- バイオマス資源量
- ⋮

大気汚染物質
- CO排出量
- NOx排出量
- SO2排出量
- PM10排出量
- NH3排出量
- ⋮

農作物関連
- 農作物生産（172種）
- 農作物生産性（172種）
- 農作物耕作地面積
- 牧草地面積
- 化学肥料使用量
- 有機肥料使用量
- ⋮

社会 S･G

地域インフラ
- 大農園による小農園圧迫
- 病院利用アクセス
- 学校教育アクセス
- 飲料水アクセス
- 衛生アクセス

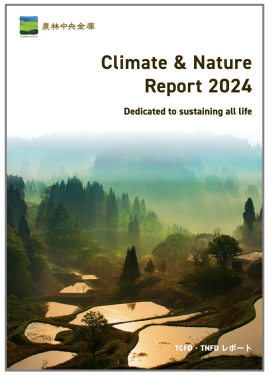
社会正義
- 汚職
- 法体制

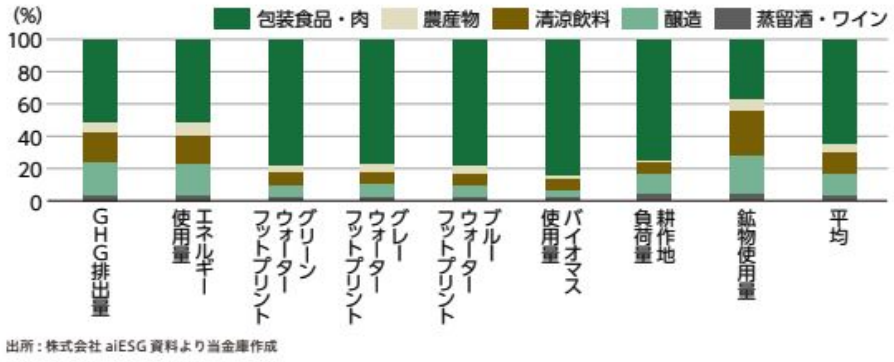
社会と人権
- 感染性疾患
- 非感染性疾患
- 紛争
- ジェンダー平等
- 先住権

労働者の安全
- 業務関連死傷
- 危険業務

公正な労働環境と条件
- 失業率
- 差別
- 労働法･慣習
- 社会厚生福利
- 移民労働
- 労働団結権
- 超過労働
- 強制労働
- 児童労働
- 貧困
- 低賃金

ユースケース1（農林中金様）：新しい開示ガイドラインにも対応





出所：株式会社 aiESG 資料より当金庫作成



出所：株式会社 aiESG 資料より当金庫作成

https://www.nochubank.or.jp/sustainability/backnumber/pdf/2024/climate_nature.pdf

- 農林中央金庫様初の TCFD・TNFD統合レポートにて、弊社分析が約5ページに渡って掲載。
- レポートでは、農林中央金庫様ポートフォリオにおける投融資先のサプライチェーンを考慮に入れた ESGリスク分析を実施。食品関連5セクターのESG負荷量を相対評価し、「包装食品・肉」セクターで全般的に影響が大きいことがわかった。
- また、当該セクターのブルーウォーターフットプリント（≒淡水使用量）を精査したところ、アメリカのオイルシード（主に大豆）産業で影響が大きいことがわかった。またその理由は、当該サプライチェーンに、アメリカで生産される植物油や家畜飼料などが多く含まれ、それらの生産に淡水資源が多く使われるため、とわかった。
- 本分析結果を受けて、例えば、□本の飼料産業のオイルシード調達方法の再検討を促すことで、ブルーウォーター使□量の減少を目指すといったネイチャーポジティブに向けた施策や優先順位の設定について、投融資先様との対話に活用可能。

© 2025 aiESG, Inc.
Highly Confidential. Not To Be Distributed Further Without Authorisation of the Sender.

ユースケース２（三井不動産様）：最適な工場立地をシミュレーション

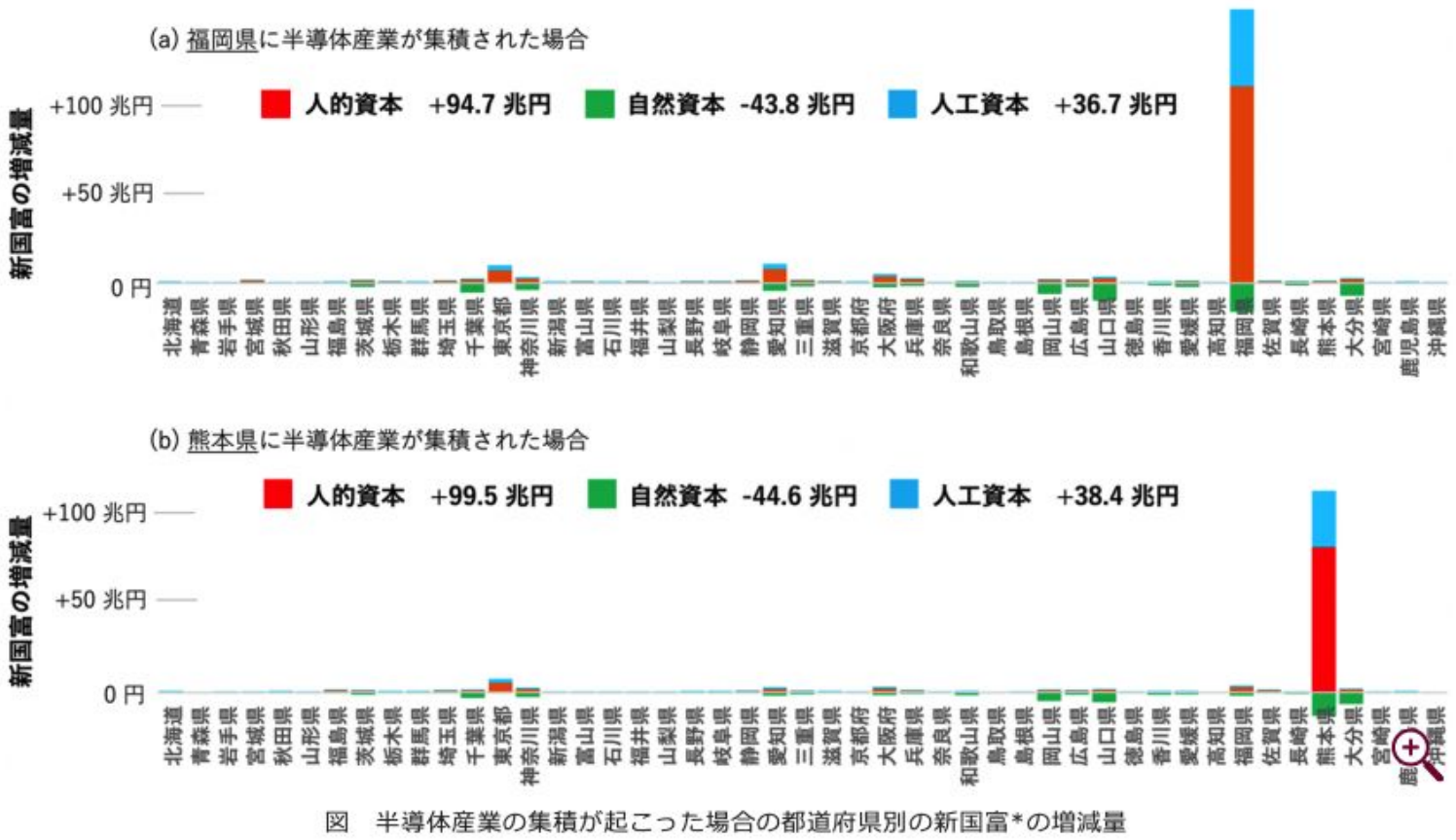


図　半導体産業の集積が起こった場合の都道府県別の新国富*の増減量

https://aiesg.co.jp/news/2400418_kyusyu-university/
https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/notices/view/2662

- 都道府県レベルの新国富増減分析の例として、半導体産業の集積による、地域ごとの新国富の増減分析がある
- 今回の熊本県と福岡県の 2ケースの比較では、人的資本の集積に大きな差が生じた。
- 特に、熊本県の場合：大都市圏だけでなく、福岡においても3.6兆円の人的資本増。<- 人材の域外需要が大きいので、日本各地から人材が流入し、全国的に人的資本（教育等）が工場するためか。

本分析は高く評価され、三井不動産・日鉄興和不動産とともに「次世代　GX産業集積研究部門」が、九大に新設されることが決定

© 2025 aiESG, Inc.
Highly Confidential. Not To Be Distributed Further Without Authorisation of the Sender.

創業以来、30社以上の大手企業の ESG分析・評価を支援
売上は昨対比 200%を継続

aiESG

TOKYO GAS

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

TAISEI 大成建設
For a Lively World

hap Inc.

NIPPON KOEI

タキヒヨー株式会社

METRIKA

...and more!

© 2025 aiESG, Inc.
Highly Confidential. Not To Be Distributed Further Without Authorisation of the Sender.

透明性を、信頼に。
ESGを経営のチカラに。

aiESG

https://aiesg.co.jp/